

平成23年10月11日発行 【第6号】

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

(このニュースレターは朝日連峰保全協議会会員各位とこれまでの会合や作業等に参加頂いた皆様にお送りしています。)

発行者: 朝日連峰保全協議会

■平成23年度 朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

平成23年9月24日(土)～25日(日)、朝日連峰の金玉水周辺において、朝日連峰保全協議会回第3回会合で決定された合同保全作業を行いました。

24日朝に古寺鉱泉に集合し、古寺山経由で番線やスコップ等の資材の荷上げを行いました。大朝日小屋に到着後は班長が現地打合せをおこなっている間、緑化ネット敷設用ペグを番線から加工するグループ、大朝日小屋に荷上げしていた緑化資材を作業地である金玉水に運搬するグループ、銀玉水周辺の資材を作業地に運搬するグループと3グループに分かれ準備作業を行いました。

本作業は過去の合同保全作業経験者が班長となり6班に分かれ、各自班長、副班長の指導のもと下記の作業を実施しました。

<作業地① 金玉水上部(中岳～金玉水登山道) 1～3班>

金玉水では過去の幕営による影響から下部斜面が崩落しており、現在も中岳からの雨水が集中して流れ込んでいる為、荒廃が進行しています。

- 金玉水に流入する雨水の全体流量を減らすため、中岳～金玉水の登山道を伝って金玉水に落ちている水を本来の沢に流すように、現地石材等を用いて排水路を設置しました。
- 水路化している登山道に、流速を遅くして侵食を防ぐ目的で現地の転石を利用した土留め工を設置しました。
- 拡幅した登山道の水みちとなっている部分の侵食を防ぐため、侵食部保護の目的でヤシ繊維や現地転石を設置しました。



出発前の渋谷代表と高取統括リーダーの挨拶



侵食部保護の為、転石等を設置

＜作業箇所2 金玉水周辺 登山道西斜面 4～6班＞

現地は過去の幕営による影響や登山道利用等がきっかけとなった裸地化やガリー侵食等によって現在も荒廃が進行しています。また、風衝地であることから強風による風食も進行しており、それらの荒廃を食い止めるため、今回は試験的に様々な工法を試みました。

- ガリー侵食部の水の流れをコントロールして土砂を安定させるため、ヤシ繊維を詰めた土嚢袋による土留め工を設置しました。
- 風食が生じている箇所では、風の流れを変えて植生回復を促す試みとして、河岸防御に用いられる水制工を参考に土嚢袋やヤシ繊維を設置しました。
- 裸地部には、緑化ネット10巻（麻製ネット1.2m×30m）を敷設しました。



ガリー侵食部に土留工を設置



防風目的の土嚢袋を設置



緑化ネットを敷設



施工箇所の振り返り

作業終了後には全員で施工箇所の確認を行い、作業全てを終了することができました。

今回の作業では、朝日連峰保全協議会の高取幹事（大江山岳会）に当日の指揮監督等、子細に渡ってご尽力頂きました。また直前に必要となった緑化資材の荷上げでは、作業一週間前にも関わらず大変多くの方にご協力いただき、事前に全ての緑化資材を大朝日小屋に荷上げすることができました。今回は東京や埼玉県等の遠方からも含め18団体48人の参加者があり、過去最大の参加人数となりました。作業に関わって頂いた朝日連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆さんにあらためて厚く御礼申し上げます。

【発行者】朝日連峰保全協議会

(事務局)羽黒自然保護官事務所(坂本、佐々木)
〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777

FAX : 0235-62-4537

E-mail : RO-HAGURO@env. go. jp